

1 単元名 「とび箱チャレンジ」(器械運動：跳び箱運動)

2 目標

- 基本的な支持跳び越し技(切り返し系, 回転系)に取り組み, 自分の能力に適した技を安定して跳ぶことができるようにする。(運動の技能)
- 運動に進んで取り組み, 約束を守り励まし合って運動をしたり, 場や器具の安全を確かめたりすることができるようにする。(運動への関心・意欲・態度)
- 自分の能力に適した技を習得するための練習場所を選ぶことができ, 場や器具を工夫することができるようにする。(運動についての思考・判断)

3 指導にあたって(男子12名, 女子10名, 計22名)

跳び箱運動は, 今できる技で安定して跳び箱運動を跳ぶ心地よさを味わえる運動である。さらに, 新しい技に挑戦したり, グループで息を合わせて連続して跳んだりして楽しさや喜びを味わえる運動である。一方, 他の領域に比べ, 「好き・嫌い」・「できる・できない」が, はっきりと表れる運動でもある。「技ができる」と嬉しい」等の感想に対して, 「痛い・怖い・できない・できない姿を見られるのがいや」等の感想をもつ児童も多い。

本学級の意識調査から, 「自分のめあてをもって学習していますか」という問いでは, もっていると答えたのは8人しかおらず, 課題を明確に把握していない状況がある。また, 「困ったときはどうしますか」の問いでは, 「先生に聞く, 教えてもらう」がほとんどで, 自分の力で解決しようとする意識が低いことが分かった。さらに, これまでの学習中の観察から仲間と一緒に運動を楽しんだり喜んだりしている姿が少ないと感じている。これらのことから本学級の児童は, 仲間と運動を楽しんだり, できた喜びを共有したり, 自らの課題を明確にして技能の習得を図る取り組みができていないことが課題であると考え。そこで, 本単元では仲間と運動を楽しむことをねらいとしたグループ演技を行い, 仲間との関わり合いを十分にもち, 互いの技を見合うことから自分の能力に応じた課題を見だし, 解決するために, 同じ課題をもつペアで技を習得するための練習に取り組む。その中で互いに教え合えるようにする。そして, 習得した技をグループ演技に取り入れ, グループ演技の質を高めていくよう学習活動を工夫する。また, 課題解決のための手立てとして, 自作の教材教具の活用を図る。これらのことで, 仲間と運動する楽しさを味わい課題を見だし解決していく力を育てていきたい。

4 単元の評価規準(学習活動に即した評価規準)

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
学習活動に即した評価規準	①楽しさや喜びに触れて, 運動に進んで取り組もうとしている。 ②約束を守り, 友達と助け合ったり, 励まし合ったりして技の練習を協力しようとしている。 ③器械・器具の安全を確かめ, 準備や片付けの役割分担の責任を常に果たそうとしている。	①課題解決の方法を知るとともに, 自分の課題に適した練習の場や任方を選んでいく。 ②技を習得するためのポイントを考え, 試し, 確認しながら学習している。	①基本的な支持跳び越し技が大きな動作で安定してできる。 ②今できる技を安定して行ったり, より大きな動きで, 新しい技を行ったりすることができる。 ③仲間と動きを同調させて, 演技することができる。

_____は十分に満足できる状況

5 指導と評価の計画(7時間扱い)

段落	時間	学習のねらいと活動	評価計画		
			関	思	技
はじめ (グループ)	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の特性やねらい, 計画, 内容を理解する。 ○ 学習の方法や場を確認する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 運動の特性やねらいを知る。 2 学習の進め方を知る。 3 準備運動をする。(類似した運動のやり方を知る) 4 グループ演技のやり方を確認する。 5 グループ演技に取り組む。 6 整理運動, 片付けをする。 7 学習を振り返る。(学習カード) 	①		①
なか 1×2 (グループ ↓ペア)	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲間とグループ演技の技を工夫させて演技の幅を広げ, 自分に合った課題を確認する。 ○ ペア練習から, 技のポイントを見合い, 教え合う。 <ol style="list-style-type: none"> 1 整列, あいさつ, 健康観察をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 場の準備をして, 準備運動をする。 4 グループ演技の技を確認して, 8の字跳びに取り組む。 グループごとに跳び方について意見を交換する。 5 ペア練習からスキルカードを活用して課題解決に取り組む。 6 本時の学習を振り返る。 7 整理運動, 片付けをする。 	②	①	
	3	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> 学習活動の工夫 第2時: グループ演技の跳び方 第3時: 他のグループ演技の観察 </div>	③		③
なか 2×3 (グループ ↓ペア)	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲間とグループ演技の質を高め, ペア練習における見合い, 教え合う活動から, 技のポイントが分かり伝え合い, 練習を選んだり, 場を工夫したりできるようにする。 		①	②
	5 (本時)	<ol style="list-style-type: none"> 1 整列, あいさつ, 健康観察をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 場の準備をして, 準備運動をする。 4 グループ演技の技を確認して8の字跳びに取り組む。 5 ペア練習からスキルカードを活用して, 課題解決に取り組みペア練習の時間を増やす。 	②	②	
	6	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> 学習活動の工夫 第4時: 発展技の導入 第5時: アドバイスの工夫 第6時: 他のグループ演技の観察 </div>		②	②
まとめ (グループ)	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲間とグループ演技のできばえを確認して, 仲間との運動を楽しむ。 <ol style="list-style-type: none"> 1 整列, あいさつ, 健康観察をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 場の準備をして, 準備運動をする。 4 グループ演技の技を確認して, 8の字跳びに取り組む。 5 各グループで演技を撮影する。自分たちのできばえを確認する。 6 本時の学習を振り返る。 7 整理運動, 片付けをする。 		②	③

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- 約束を守り、友達と助け合ったり、励まし合ったりして技の練習を協力しようとしている。
(運動への関心・意欲・態度)
- 技を習得するためのポイントを考え、試し、確認しながら学習している。
(運動についての思考・判断)

(2) 準備・資料

跳び箱8台、平均台2台、ロイター板16台、マット12枚、安全マット2枚、ケンステップ、紅白玉、学習カード、スキルカード、掲示資料ホワイトボード、グループボード、アドバイスボード、手足シール、開脚跳び用板

(3) 展開 (5 / 7)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 8分	1 整列、あいさつ、健康観察をする。 2 本時のねらいや学習の進め方を全体で確認する。 3 学習の場を準備する。兄弟グループに分かれて準備運動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・身支度の確認と健康観察を行う。 ・活動の場の安全や、けがの防止について心がけさせる。 ・グループ演技の工夫点の掲示資料を示し、運動のイメージをつかませ、本時の活動に入る。 ・6種類30秒間でローテーションを行い、楽しみながら準備運動に取り組みさせる。 	
なか 30分	4 グループボードを活用して、グループ演技の跳ぶ内容や順番を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて1 今できる技でリズムよくとんでみよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ演技に取り組み仲間と跳び箱を跳ぶ楽しさを味わう。 5 同じ課題をもつペアになり、お互いに練習の課題を考え、実際の運動で試してみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて2 新しい技にどんどん挑戦しよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルカードを活用して技のポイントを確認する。相手の技を観察してアドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の練習で、できたことが確認された技のみ、取り入れていいことを伝える。 ・技の組み合わせやリズム、掛け声など良い点を、称賛できるようにする。 ◇自信をもって取り組むことができるよう声を掛ける。 	<関心・意欲・態度②> ・約束を守り、仲間と助け合ったり、励まし合ったりして技の練習を協力しようとしている。 (観察) <思考・判断②> ・技を習得するためのポイントを考え、試し、確認しながら学習している。 (スキルカード・観察)
まとめ 7分	6 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに記入する。 ・「できたよカード」を作成して発表する。 7 整理運動、片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で分かったこと、できたことを取り上げて、全体でポイントを確認する。 ・痛めたところはないか、体調を確認しながら、ストレッチできるようにする。 	

◇は努力を要する状況にある児童の手立て